

だからこれから 地方が面白い！

各務原市副市長

小鍋 泰弘

ONABE Yasuhiro

平成 9年 4月 自治省採用
行政局市町村課行政体制整備室
平成11年 4月 京都府総務部地方課
平成13年 1月 総務省自治行政局地域振興課
平成15年 1月 大臣官房秘書課秘書第四係長
平成16年 1月 自治財政局財政課制度係長
平成18年 4月 自治財政局地方債課資金係長
平成19年 4月 各務原市都市戦略企画推進部企画財政総室財政課長
平成21年 4月 自治財政局地方債課企画係長
平成24年 4月 消防庁予防課主幹
併任 総務課消防技術政策室主幹
併任 予防課危険物保安室主幹
併任 予防課特殊災害室主幹
命 予防課行政係長事務取扱
平成26年 4月 自治財政局地方債課主幹
平成27年 4月 現職



『この10年が勝負!』

「この10年が勝負!」。最近の市職員皆さんとの合言葉です。

日本は未経験の人口減少時代に入りました。本市も他なりません。かつての新興住宅街が加速度的に空き家街になるのをどう食い止めるか。買物対策を始め、高齢者の足の確保のため公共交通の仕組みをどう変革するか。子供達が急減する中、地域の核となる学校をどう再編・利活用するか。柔軟な介護サービス体系の構築に何が必要か。

これら複雑で新しい諸課題は、団塊世代の方々が75歳を超える2025年以降、一挙に顕在化します。そしてそれはまず地方から発生します。それまでの10年間にしっかり仕組みを作り対処したい。この10年が、我々地方の腕の見せ所なのです。

「失敗してからが本当のスタート」。「時代に即応した新しい解決法が必ずある」。

「それはできません」となかなか言わない市職員。私は、彼ら気概ある市職員を誇らしく思い、そして勇気もらい、毎日挑戦の日々を送っています。

『新しい課題に地方から挑む』

私は平成9年に自治省に入省し、京都府、そしてこの各務原市には2回赴任しました。総務省の醍醐味は、何と言っても国・都道府県・市町村の全てに勤務の機会を与えてくれることです。それぞれの地域で、様々な事象を経験し、多様な人々と対話し、地域文化に触れ、笑ったり喜んだり時には悩んだり。総務省職員はこの地方の「体温」を知っています。国の制度設計にはこの「体温」が必要なのです。これが総務省職員の出来る業なのです。

これからは人口減少という新しい諸課題に立ち向かいます。都市計画や住宅政策、公共交通体系など、人口増加時代に制度設計された様々な仕組みの歪を、今こそ再構築すべきなのです。必要なことは、地方の「体温」を感じながら、過去から学び、そして過去にとらわれずに、今を大胆に発想すること。そして皆さんの若いアイデア。

新しい課題に地方から挑む。これから地方は面白い。是非、総務省でこの話の続きをさせてください。



Private Time

休日は、専ら子供と一緒にサッカースポーツ少年団。子供達の笑顔に平日の疲れも忘れます。合間を見つけては、好きな読書を猫と一緒にごろごろと。至福の時間。本市は空き家DIY型賃貸契約を推進しており、最近リノベーションにも興味。市民の皆様と一緒に汗を流しています。今年は市民農園での野菜作りにも挑戦!

Some One Week

Monday

新年の宮中歌会始に全国最高齢で入選した市民の方に、市民荣誉賞授与式を挙行。

Tuesday

中学校の卒業式に出席。市長祝辞を代読。卒業生の目の輝きに感動!

Wednesday

本日から3月議会が開会。毎回緊張します。しっかり丁寧に答弁します。



Thursday

自治会の会合に参加。地域を誇らしげに語る皆さん。これぞ地域力の原点!

Friday

市内にある主要航空機関連企業の新工場の竣工式で挨拶。本市産業を牽引します。